

田子町の概況

合併協議の状況等

1 旧法下における合併協議の状況

<三戸地域（三戸町、田子町、名川町、南部町）>

4町の合併担当課長等で構成する「三戸地方市町村合併研究会」を設置（平成13年2月28日）。

名川町長が八戸地域の合併検討協議会への参加を申し入れ（平成13年12月14日）。

田子町、名川町及び南部町が八戸地域合併検討協議会へ参加（平成14年4月1日）。

三戸町において、住民発議による田子町、南部町との合併協議会の設置請求（平成16年1月19日）。

三戸町長から、田子町長及び南部町長に対して合併協議会設置協議について、議会に付議するか否かの意向打診があり（平成16年1月20日）、両町長から付議しない旨を回答（平成16年1月29日）。

<八戸地域（八戸市、田子町、名川町、南部町、階上町、福地村、南郷村、新郷村）>

「八戸市・階上町・福地村・南郷村合併検討協議会」を設置（平成13年7月26日）。

田子町、名川町及び南部町が合併検討協議会に参加。名称を「八戸地域合併検討協議会」に変更（平成14年4月1日）。

階上町で7市町村での合併の賛否を問う住民投票を実施（平成15年2月9日）。投票率54.1%、「賛成」3,283票、「反対」2,897票。

新郷村を含めた8市町村による法定の「八戸地域合併協議会」を設置（平成15年4月1日）。

8回の合併協議会を開催。 <合併方式 = 八戸市に編入合併、合併期日 = 平成17年1月1日、新市事務所位置 = 現八戸市庁、新市名称 = 八戸市>

階上町議会において、八戸地域での合併を求める議案を8対9で否決。同日、階上町長が協議会会長に合併協議会からの離脱を申し入れ（平成16年4月13日）。

第9回合併協議会において、協議会の廃止を承認（平成16年6月7日）。

合併協議会を廃止（平成16年6月30日）。

2 市町村合併の推進に関する構想策定に係る調査結果（H17.11～12 実施）

項 目	回 答 内 容
行政課題	<p>住民が行政と対等の立場で行政運営に携わっていくための住民及び行政職員の意識の醸成</p> <p>基幹産業である農業と、商工業に対する支援</p>
合併の 必要性	<p>必要性 ~ 必要</p> <p>時期 ~ 新合併特例法の期限（平成21年度）を目途として</p> <p>対象範囲 ~ 旧法の下、八戸地域合併協議会への加入、そして解散後における名川町、南部町及び福地村との合併協議の申し入れ等の経緯や三戸町が単独での行政運営の姿勢を堅持していること等を勘案して、対象町村を考えている。</p>

田子町の概況

1 地域の沿革

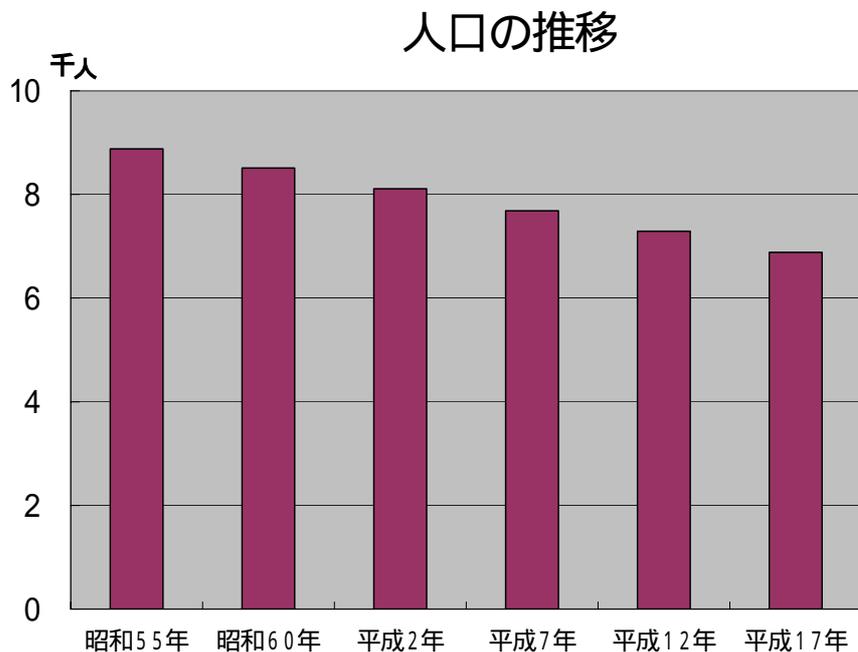
明治22年 市制町村制 施行当時の 名称	明治	大正	昭和元年 ～ 昭 28.9.30	昭28.10.1 (町村合併 促進法施行 時)の名称	昭28.10.2～	現在の名称
田子村			田子町 (3.11.10)	田子町	田子町 (30.3.1)	田子町
上郷村				上郷村		

2 人口・面積の状況

(1) 人口

総人口の推移

国勢調査結果により、昭和55年と平成17年の人口を比較すると、22.5%減となっている。



(単位:人,%)

	昭和55	平成2	平成12	平成17	増減率 (昭55～平17)
田子町	8,878	8,106	7,288	6,883	22.5

資料:国勢調査(平成17年)

将来人口の推計

将来人口については、平成17年から平成42年までの推計によると、32.5%減となることが予想されている。

(単位:人,%)

	平成17 (推計値)	平成22	平成27	平成32	平成37	平成42	増減率 (平17~平42)
田子町	6,893	6,461	6,008	5,544	5,081	4,652	32.5

資料: 将来人口推計(厚生労働省)

世代別人口の推移

昭和55年から平成17年までの推移をみると、65歳以上の人口が118.9%と2倍以上増加している。一方、14歳以下の人口及び生産年齢人口(15歳以上64歳以下)はいずれも減少している。

(単位:人,%)

		昭和55	平成2	平成12	平成17	増減率 (昭55 平17)
田子町	0~14歳	2,083	1,506	1,069	880	57.8
	15~64歳	5,769	5,164	4,247	3,757	34.9
	65歳以上	1,026	1,436	1,970	2,246	118.9

資料: 国勢調査(平成17年)

(2) 世帯数

昭和55年から平成17年までの世帯数の推移をみると、3.8%減と、微減にとどまっている。

世帯数の推移

(単位:世帯,%)

	昭和55	平成2	平成12	平成17	増減率 (S55~H17)
田子町	2,312	2,271	2,253	2,223	3.8

資料: 国勢調査(平成17年)

(3) 昼夜間人口

昼夜間人口比については、97.6%とやや流出超過となっている。

昼夜人口及び昼夜間人口比

(単位:人,%)

	夜間人口	昼間人口	昼夜間人口比
田子町	6,883	6,719	97.6

資料: 国勢調査(平成17年)

(4) 面積・人口密度

面積及び人口密度の状況

	人口(人)	総面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
田子町	6,883	242.10	28.4

資料: 国勢調査(平成17年)

3 日常生活圏の状況

(1) 交通

田子町と近隣市町との交通事情は、次のとおりである。

田子町からの交通概況

	三戸町	南部町	八戸市
主要幹線	国道 104 号	国道 4 号 国道 104 号	国道 4 号 国道 104 号
車による 所要時間 (各役場間)	夏季 20分 冬季 25分	夏季 55分 冬季 60分	夏季 70分 冬季 80分
公 共 交通機関	南部バス (平日 13 往復) (日曜、祝日 8 往復)	南部バス (直接乗り入れなし。)	南部バス (直接乗り入れなし。)

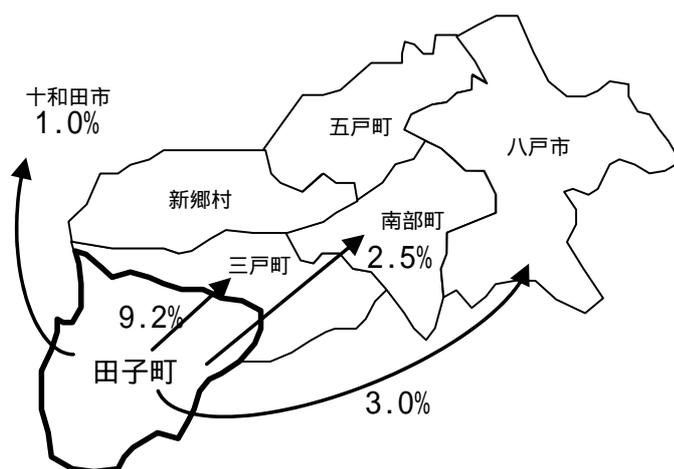
(2) 田子町に住む者の通勤・通学先市町村

通勤

田子町に常住する就業者(15歳以上)のうち、19.4%が町外で従業しており、その構成比は三戸町9.2%、八戸市3.0%、南部町2.5%等となっている。

	総数(人)	構成比
田子町に常住する就業者	3,781	100.0%
田子町で従業	3,046	80.6%
他市町村で従業	735	19.4%
うち三戸町	347	9.2%
八戸市	114	3.0%
南部町	95	2.5%
十和田市	38	1.0%
その他の市町村	19	0.5%
他県	122	3.2%

(資料) 国勢調査(平成17年)

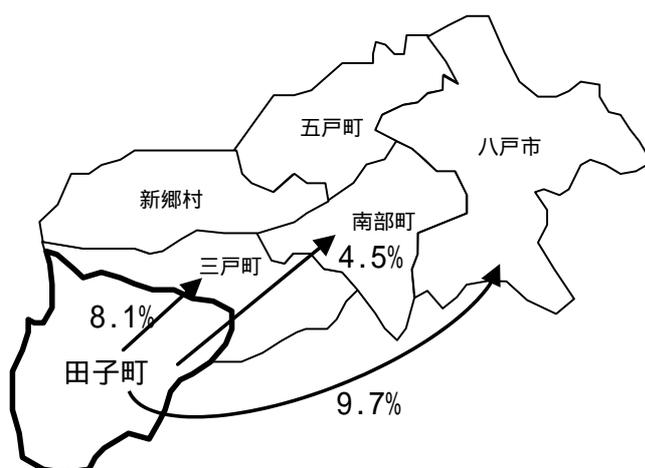


通学

田子町に常住する通学者(15歳以上)のうち、24.3%が町外に通学しており、その構成比は八戸市9.7%、三戸町8.1%、南部町4.5%等となっている。

	総数(人)	構成比
田子町に常住する通学者	247	100.0%
田子町に通学	187	75.7%
他市町村に通学	60	24.3%
うち八戸市	24	9.7%
三戸町	20	8.1%
南部町	11	4.5%
その他の市町村	4	1.6%
他県	1	0.4%

(資料) 国勢調査(平成17年)



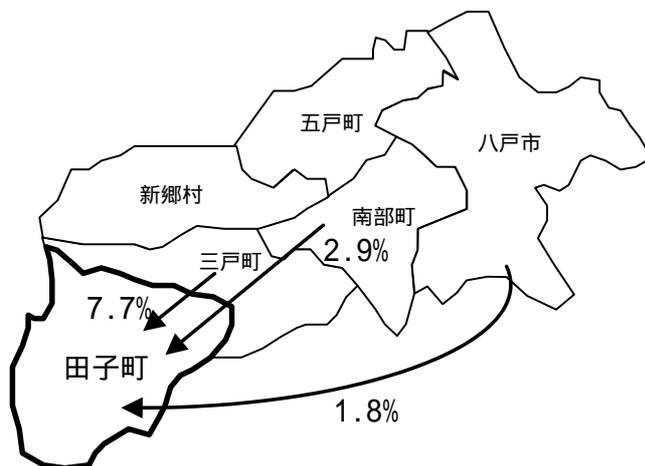
(3) 町外からの通勤者・通学者の常住市町村

通勤

田子町で従業する15歳以上の者のうち、16.2%が町外から通勤しており、その構成比は三戸町7.7%、南部町2.9%、八戸市1.8%等となっている。

	総数(人)	構成比
田子町で従業する者	3,637	100.0%
田子町に常住	3,046	83.8%
他市町村に常住	591	16.2%
うち三戸町	281	7.7%
南部町	105	2.9%
八戸市	66	1.8%
その他の市町村	35	1.0%
他県	104	2.9%

(資料) 国勢調査(平成17年)



通学

田子町で通学する15歳以上の者のうち、18.0%が町外から通学しており、その構成比は三戸町11.4%、南部町3.1%等となっている。

	総数(人)	構成比
田子町で通学する者	228	100.0%
田子町に常住	187	82.0%
他市町村に常住	41	18.0%
うち三戸町	26	11.4%
南部町	7	3.1%
その他の市町村	2	0.9%
他県	6	2.6%

(資料) 国勢調査(平成17年)



(4) 購買動向

買い物の多くは町外で行われており、その全体の構成比は八戸市48.3%、三戸町23.7%等となっている。

田子町常住者の購買先市町村の状況

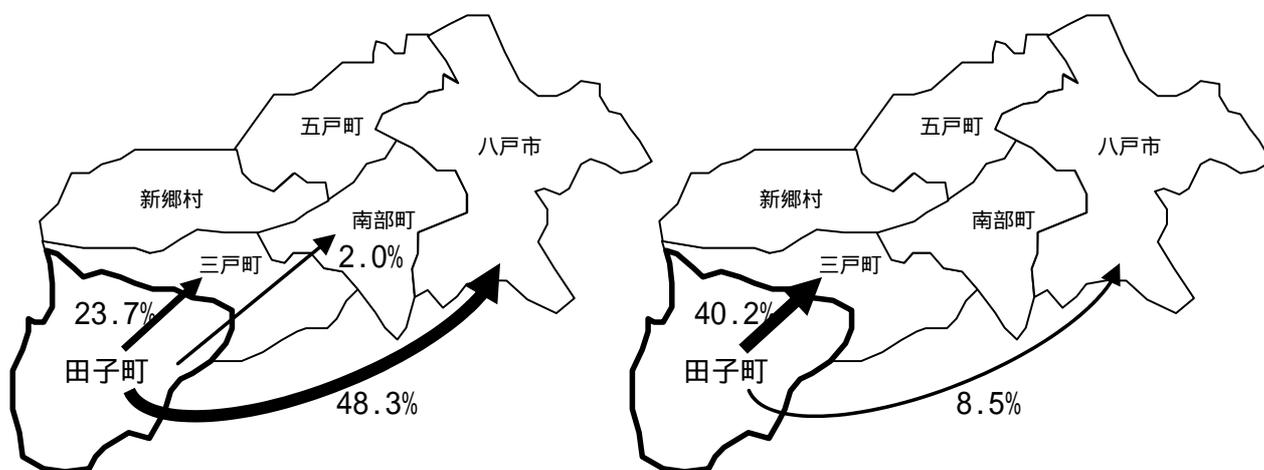
(単位：%)

商品名 購買先市町村	全体	商品名別				
		食料品	身回品・雑貨	衣料品	生活用品	家族連れ外食
田子町	14.5	43.6	4.2	6.0	12.2	-
八戸市	48.3	8.5	59.4	66.8	44.7	84.8
三戸町	23.7	40.2	27.1	10.6	26.1	-
南部町	2.0	-	1.7	2.0	3.7	-
その他	11.5	7.7	7.6	14.6	13.3	11.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.3

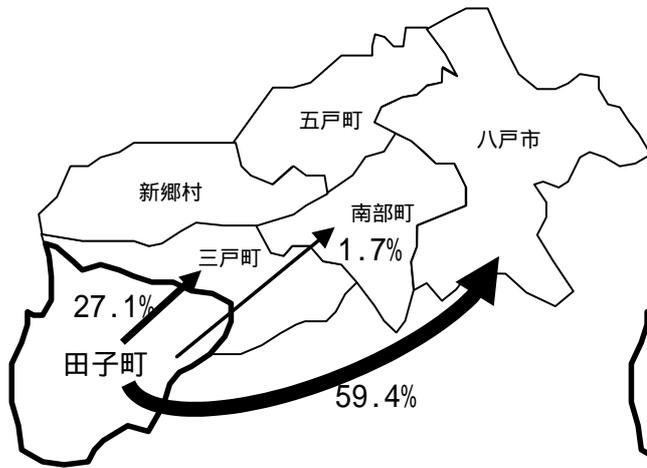
(資料) 青森県、青森県商工会議所連合会、青森県商工会連合会「消費購買動向による商圈調査報告書(平成18年度)」

購買先市町村(全体)

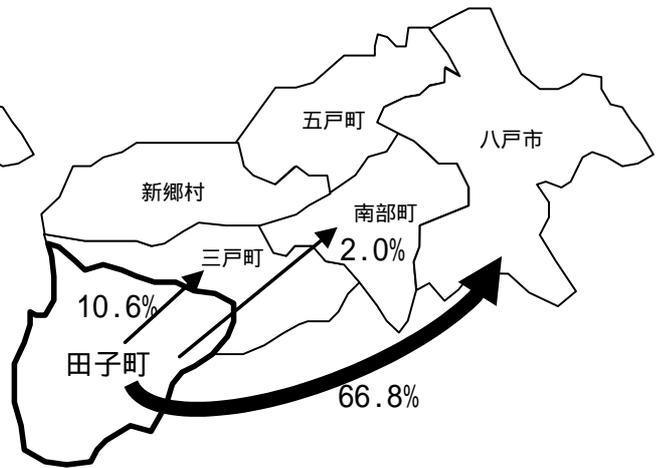
購買先市町村(食料品)



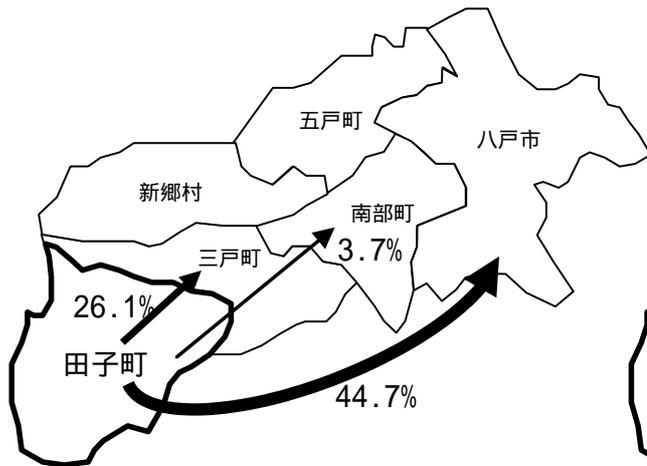
購買先市町村（身回品・雑貨）



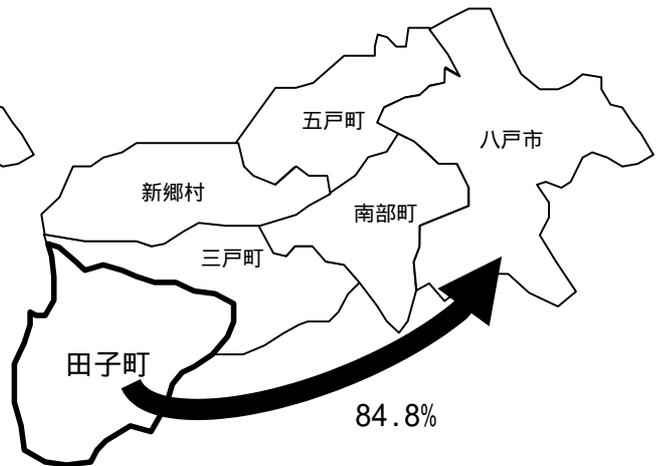
購買先市町村（衣料品）



購買先市町村（生活用品）



購買先市町村（家族連れ外食）



(5) 受診動向(病院)

通院患者の62.6%が、入院患者の49.0%が町内の医療施設で受診している。

田子町常住者の受診先市町村の動向(通院、入院別)

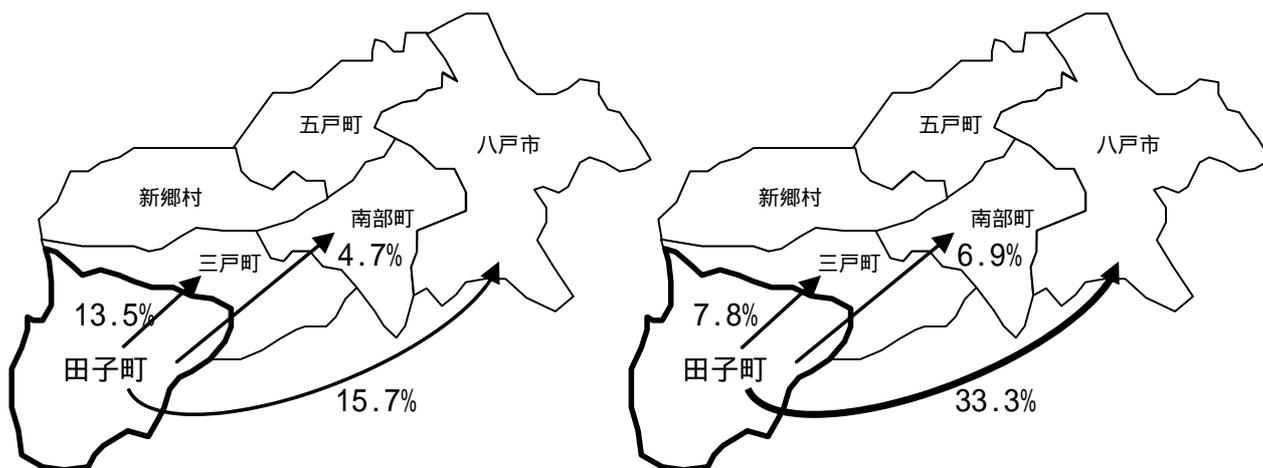
(単位 %)

医療施設所在地	通院	入院
田子町	62.6	49.0
八戸市	15.7	33.3
三戸町	15.3	7.8
南部町	4.7	6.9
その他	1.7	3.0
合計	100.0	100.0

(資料) 県「青森県受療動向調査(平成13年)」

医療依存度の状況(通院)

医療依存度の状況(入院)



4 産業構造（産業別人口）

産業別人口の構成は、第1次産業従事者が39.5%、第2次産業従事者が23.0%、第3次産業従事者が37.4%となっている。

産業別人口の比較

(単位:人、%)

	各市村の就業人口、構成比	
	就業人口	構成比
田子町	3,781	-
第1次産業従事者	1,494	39.5%
第2次産業従事者	870	23.0%
第3次産業従事者	1,414	37.4%

資料:国勢調査(平成17年)

5 広域行政の状況

田子町における広域行政の状況は、以下のとおりである。

共同処理事務	共同処理組織	構成市町村
消防	八戸地域広域市町村圏事務組合	八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町
ごみ処理	三戸地区塵芥処理事務組合	三戸町、田子町、南部町(旧名川町、旧南部町)
し尿処理	三戸地区環境整備事務組合	三戸町、田子町、南部町(旧名川町、旧南部町)
火葬場の設置	三戸地区環境整備事務組合	三戸町、田子町、南部町

一部事務組合のうち、全県的なものは除く。